

第3回学校運営協議会

国分寺東小学校会議室にて

1 日時 令和5年2月22日（水）

2 参加者 学校運営協議会委員

- ・増渕 晴美 （東方台地コミュニティ推進協議会副会長）
- ・大垣 玉枝 （下野市国分寺地区主任民生児童委員）
- ・下山千恵子 （読み語りボランティア団体代表）
- ・吉田 聡 （東方台地コミュニティ推進協議会副会長、元PTA会長）
- ・山家 幸勝 （保護者、元PTA副会長）
- ・人見佳代子 （本校校長）

地域学校協働活動推進委員 宮川 長一

※大橋 義一 （東方台地コミュニティ推進協議会幹事、柴地区環境保全会幹事、元PTA会長） 欠席

※山家 立美 （地域 柴地区環境保全会幹事） 欠席

事務局 司会 坂本 順子（本校教頭）

記録 近江 成美（本校教務主任）

写真 篠崎 陽一（本校地域連携教員）

3 内容

学校運営協議会議事

- ①学校評価についての説明
 - ②6年生を送る会 動画視聴
 - ③6年生を送る会の感想など
 - ④学校評価について協議
- ・事務連絡（来年度の重点テーマ等）

主な協議内容

発表者	発言・意見・質問など
教頭	9：30～ 【開会】 会長 あいさつ 校長 あいさつ
	1 学校評価について 教頭より説明 （1）項目から 抜粋して説明
	【設問1】 授業については、教職員の評価が高くなっている。基礎基本がよく身に付いていると教職員は感じている。
	【設問3】 家庭学習について、保護者は3点以下（4点満点中）の評価となっている。家庭では決まった時間、場所で学習する習慣はあまり身に付いていないと感じている保護者が多い。学校では小中一貫教育の中で、家庭学習協調週間を実施して、家庭からのコメントなどもいただきながら習慣づけを図っている。
	【設問5】 読書について、保護者の評価はこれまでと同様に低い。保護者の質問項目が「休日に」となっているので、土日は習い事等忙しいことが考えられる。児童については、「図

書室に積極的に」となっている。業間や昼休みは外で遊ぶ児童も多いので、低い数値になっている側面もある。学校では朝の読書や、テストが終わった後など、児童はよく本を読んでいる。学校での読書への取組などを家庭に発信していく必要がある。

【設問 8】

清掃についてはよくやっている。児童と教職員は同等の評価をしている。家庭ではまだできていないようであるが、小さいころからのお手伝いなどやっていけるとよいかもしれない。

【設問 10】

学校行事については三者ともよい結果である。行事は児童にとってもとても大切なものと考えている。

【設問 11】

あいさつについて、教員はもう少しできると感じている。本年度小中交流あいさつ運動を実施した。東小の企画委員会児童によるあいさつ運動など、工夫して取り組んできた。今後も指導を続けていきたい。

【設問 15】

食事について、給食は量を調整して個に応じた声かけをしている。

【設問 17】

先生は、自分が努力したことを認めてくれる、について三者とも同じようによい結果が出ている。保護者からの信頼を受けていることはとても嬉しいことである。

【設問 21】

小中一貫教育については、コロナ禍で小中交流が思うようにできないこともあったが、保護者にもっと認知してもらえるように努力が必要である。

【設問 22】

地域の方との関わりについて、職員は地域の方に支えられていると理解している。

(2) 保護者の意見

- ・学校や職員への感謝の言葉をたくさんいただいた。
- ・登下校の心配について。
- ・体育館のゆれについて→教育総務課に確認してもらい、構造上問題なし。
- ・一人ひとりに合った指導をしてほしい。

(3) 児童の意見

- ・タブレットを使つての学校評価だったため、低学年は文の入力が難しく、意見を吸い上げることができなかった。教育相談や他の場面で児童の意見などを聞いていく必要がある。
- ・机を新しくしてほしい→来年度より、少しずつ購入して入れ換えていく予定。

2 6年生を送る会 動画視聴

3 6年生を送る会について

- ・感激した。各クラスで6年生を思ってメッセージを伝えていた。
- ・学校は家族のようと思った。
- ・6年生へのあこがれを感じた。6年生が大きくなっていた。
- ・来年は、動画視聴でなく、全児童が集まって会を催せたらいい。
- ・修了式は、体育館に集まって行う予定。

委員
委員
委員
委員
校長

委員	4 学校評価についての協議
委員	・「学校は楽しくない」と思っている児童がいることを忘れないでほしい。児童も保護者も先生に自ら言えない場合も考えられるので、先生方から声をかける配慮をお願いしたい。
校長	・【設問3】については、市内統一の設問内容か。
委員	・国分寺中学校区は全部同じ設問。
	・いくつかの項目で保護者の評価が低くなっているのは、子どもに期待しているのだと思う。読み聞かせに来ているが、子どもたちは集中して聞いている。
	・【設問16】について、「先生は話を聞いてくれる」と子どもが感じていることがうれしい。
	・【設問20】「学校に行くのが楽しい」について、あまり楽しくない、楽しくないと回答している子が気になった。
教頭	・勉強や運動等、苦手になっているものがあることで、楽しくないと感じる児童がいるのではないか。
校長	・高学年などは、友人関係なども心配があるのかもしれない。否定的な回答をした小数の子どもたちに目を向けていく必要がある。
委員	・そう考えてくれると有り難い。
委員	・【設問5】について、市図書館では、年齢が上がるにつれて図書館の利用データが減ってくると言うデータがある。若い人は図書館に行かなくても、スマホで見られる。小学生が親子で土日に図書館に来館しているのを見ると安心する。
委員	・【設問7】について「早寝早起き朝ごはん」年々上がってきている。食べない日があると回答した1割の児童について、保護者の意識をどう向上させていけばよいのか。
委員	・【設問11】については、教職員のあいさつの声が小さいと感じることがある。
委員	・全体的に3年間の評価は安定している。学校ではやれても家でやれないことがある。家庭は（甘えられる場所という意味で）そういう場所と考える。
委員	・【設問15】については、自分の子どもを考えると、学校ではできているが家では食事を食べている途中でも出歩いてしまうことがある。あいさつは、近所の子どもたちは以前の方ができていたように感じる。全体としてはよくできている。
委員	・今は、「知らない人と話してはいけない」と教えているのか。難しさを感じる。お互いの顔がわかればあいさつができる。
地域学校協働活動推進委員	・東小の学校評価は、全体的に高い。活動量も適正だと思う。どの学校も保護者の評価は低くなりがちなので、学校のアピールが必要。例えば学級懇談会などで、小中一貫教育の様子を伝えるなど。それぞれの学校の特色を出していく。
教頭	・来年度の学校運営協議会委員のテーマがあると、学校、地域、保護者が同じ方向で問題解決にあたれると考えている。
校長	・学校としては、読書に力を入れたい。図書支援員は勤務日数が限られている。図書のボランティアを入れることで地域とのつながりも戻して行きたいと考える。
委員	・司書の人数を増やすことはできないのか。
地域学校協働活動推進委員	・司書教諭は教員で、司書は雇えない。臨時の職員である。地域の人が図書室にいれば、いろいろな人とふれ合うことで、図書室に行きたいと思うこともあるだろう。
教頭	・来年度の委員さんの予定。日程について。
	～ 11:55 ～ 【閉会】